フジッコ

証券コード 2908

第58期
中間報告書

平成29年4月1日から
平成29年9月30日まで

Top Message ● 株主の皆様へ

代表取締役社長 福井正一

安心・安全の徹底の下、収益力強化とブランド価値向上を目指します。

平成30年3月期第2四半期（連結）

売上高	営業利益
304.4億円（前年同四半期比4.0%増）	23.0億円（前年同四半期比4.6%減）

経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
24.7億円（前年同四半期比5.5%減）	16.6億円（前年同四半期比0.6%減）

■ ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

■ 当期の事業環境と取り組み

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に雇用環境や所得の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、食品業界においては、消費者の根強い節約志向や価格競争の激化もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおいては、中期3か年経営計画の2年目として、基幹事業である昆布・豆製品の収益力強化を行うとともに、成長事業である惣菜・ヨーグルト製品の競争力向上への取り組みを加速させました。また、「消費者志向自主宣言」の下、「お客様の生の声」を活かした製品開発やマーケティングに注力しました。

■ 当期の業績

売上高は、惣菜製品、ヨーグルト製品、デザート製品が前年実績を大きく上回り、豆製品も伸長したことに加え、昆布製品も前年並みに推移したことから304億48百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

しかしながら、利益面では、売上原価率が上昇し、営業利益は23億2百万円（前年同四半期比4.6%減）、経常利益は24億79百万円（前年同四半期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億68百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

■ 通期の見通しとビジョン

今後の国内景気につきましては、引き続き緩やかな回復基調で推移するものと思われます。

当グループにおきましては、「安心・安全・健康」の品質第一主義に立ち、お客様の食生活への貢献を通じてフジッコブランドの価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

製品別の売上状況

全ての製品分類において、前年実績を上回りました。

惣菜製品

売上高 96.7億円 (5.6%増) ↗

昆布製品

売上高 82.2億円 (0.4%増) ↗

豆製品

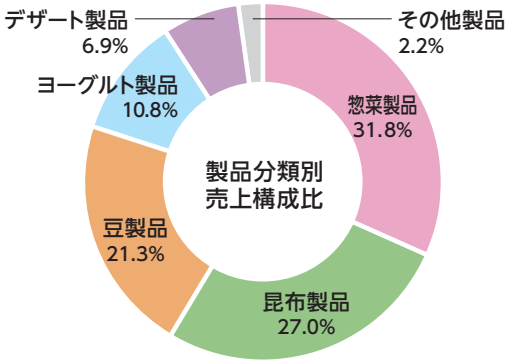
売上高 64.7億円 (4.4%増) ↗

ヨーグルト製品

売上高 32.9億円 (6.1%増) ↗

デザート製品

売上高 21.0億円 (6.3%増) ↗



※上記数値は平成30年3月期第2四半期（連結）です。
※カッコ内の数値の増加率は前年同四半期比です。

事業の概況 Q&A ①

Q. 成長事業の取り組みについて教えてください。

A. 個食タイプの包装惣菜「おばんざい小鉢」の全国販売を開始しました。

移し替え不要・食べきりサイズの「おばんざい小鉢」シリーズは、昨年9月の新発売以来、首都圏・近畿圏エリアを中心に販売してきましたが、平成29年9月より地域限定から全国へと販売エリアを拡大しました。

少人数世帯や共働き世帯の増加といったライフスタイルの変化の下、惣菜のニーズはますます高まっています。「おばんざい小鉢」は、忙しい毎日を送るお客様の食卓に「おいしさ」「日持ち」「食べきり」をお届けします。

Q. コア事業の取り組みについて教えてください。

A. 和田山工場の塩こんぶ新工場棟が稼動を開始しました。

和田山工場（兵庫県朝来市）の新工場棟が平成29年10月から稼動を開始しました。新工場棟では、老朽化施設を一新し、当社のロングセラー商品「ふじっ子（塩こんぶ）」の生産を担っています。また、次世代新商品「ふりふり塩こんぶ」のテスト販売を開始し、塩こんぶの更なる需要拡大に向け取り組んでいきます。

▲ 和田山工場 新工場棟外観

「ふりふり塩こんぶ」とは?

「ふりふり塩こんぶ」は、卓上ボトルタイプの塩こんぶです。細かくカットされた塩こんぶは、パスタや野菜炒め、チャーハンなどさまざまな料理との相性がばっちり!パラっとふりかけるだけで味付けが決まる万能調味料です。プレーン味・ガーリック&ペッパー味の2種。平成29年9月より近畿圏の一部店舗でテスト販売中。来春3月に全国発売を予定。

◀ 新商品「ふりふり塩こんぶ」

Q. 「働き方改革」の取り組みについて教えてください。

A. 「ダイバーシティ推進室」を中心に、「すこやかフジッコ大作戦」を展開中です！

「すこやかフジッコ大作戦」の目的は、社員一人ひとりが自らの働き方を振り返り、ワークライフバランスを見つめ直すきっかけをつくることです。具体的には、ノー残業デーの設定、休暇取得の推進などの取り組みを行っています。

また、社員の労働環境をみまもるため、「みまもりたい！（ベテラン社員を主力とした組織）」によるキャラバン（職場訪問・ヒアリング）なども行っています。「すこやかフジッコ大作戦」をきっかけとして、社員自らが、仕事の生産性、合理性を意識し、「長時間働く」ことを前提としない、新しい働き方を創出することができるよう、引き続き、様々な仕掛けを考え、実践してまいります。

［ 取り組みの一例 ］

▲ 社内啓蒙ポスターの作成

▲ 会議効率向上への取り組み

▲ セルフケア教室の開催（本社）

Q. 「消費者志向自主宣言」の具体的な取り組みについて教えてください。

A. 「お客様の生の声」を活用させていただき、お客様満足の向上に取り組んでいます。

平成29年1月、「消費者志向自主宣言」を当社ホームページに公表し、お客様第一の企業姿勢をステークホルダーの皆様と改めて約束しました。

その具体的な取り組みの一つとして、お客様相談室にいただく「お客様の生の声」を経営会議において経営陣で共有しています。抽出された課題については、お客様情報会議において、品質保証やマーケティングなど部門の壁を越えて改善策を検討し、問題解決を図っています。検討事項は、商品の味や見た目といった品質面だけでなく、パッケージの表示やキャンペーンの案内方法まで多岐に渡ります。

▲ 経営会議で「お客様の生の声」を共有

FUJICCO NEWS 1 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

フジッコ初の株主様向け料理教室を開催

平成29年9月13日、フジッコ初の株主様向けイベントとして、関西在住の株主様を対象にNHK「きょうの料理」などでもおなじみの白井（しらい）操（みさお）先生（料理研究家）による料理教室&ミニセミナーをフジッコ本社（神戸市中央区）にて開催しました。今回は、たくさんのご応募の中から抽選で23名の株主様にご参加いただきました。各グループ4～5人に分かれてのフジッコ商品アレンジメニューの調理では、参加者同士の会話も弾んだ様子。今後も、皆様にもっと身近に感じてもらえる企業を目指して、株主様対象のイベントを増やしてまいります。

▲ 料理教室の様子

▲ 株主様同士の交流にも

東京にて個人投資家向けセミナーを開催

平成29年8月19日、昨年に引き続き、東京丸の内で開催の「個人投資家向けのIRフォーラム」に参加しました。当日はフジッコ代表取締役社長の福井正一より、「Customer First!! -フジッコの安心・安全・健康-」と題し、事業の取り組み概要等をご説明しました。また、企業ブースにて個人投資家の皆様へ会社や商品、株主優待・配当といった株主メリット等についてご紹介しました。

来場者アンケートでは、「投資評価として最も評価が高い企業」「説得力があるセミナー」「印象が良いセミナー」の項目でイベント参加企業11社中トップの高い評価をいただくことができました。

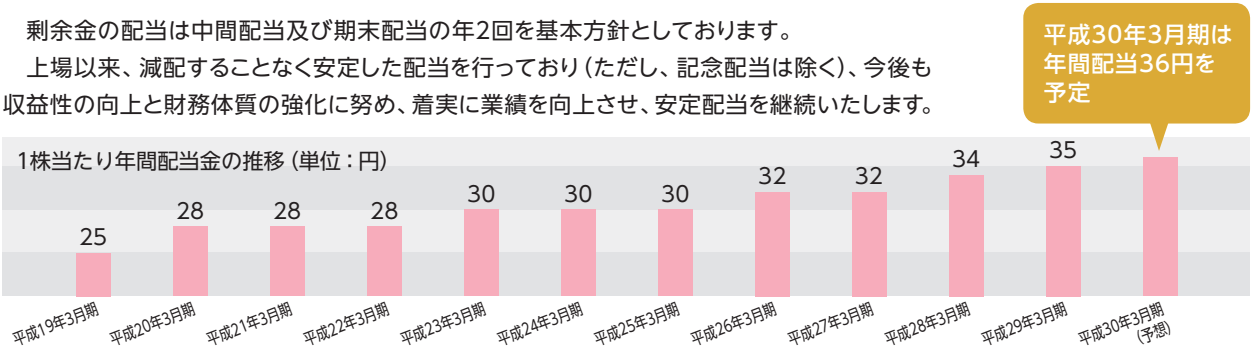
▲ セミナーの様子

▲ 投資家様との対話

配当についての考え方

剰余金の配当は中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としております。

上場以来、減配することなく安定した配当を行っており（ただし、記念配当は除く）、今後も収益性の向上と財務体質の強化に努め、着実に業績を向上させ、安定配当を継続いたします。



食育・地域貢献の取り組み

第8回 食育DAY「豆ファーストのススメ」

毎年6～8月に、一般のお客様を本社へお招きし、食について考えていただく1日、「食育DAY」を開催しています。本年は平成29年8月24日に第8回食育DAY「豆ファーストのススメ」を開催しました。

第1部　シニアのためのふだんごはん（料理教室）

医学博士・管理栄養士の本多京子先生をお招きし、シニア向けの料理教室を開催しました。和食の基本である一汁三菜の食事は、健康に良いとはいえ、毎回一から作るのは手間がかかるものですが、市販の惣菜をアレンジすることで手軽に実践するコツを教えていただきました。

料理教室の様子 ▶

第2部　基調講演&パネルディスカッション

メディアでもご活躍の順天堂大学医学部教授である池谷敏郎先生をお招きし、「豆ファーストのススメ ～豆で健康にスッキリ美しく～」をテーマにご講演いただきました。循環器科の名医である池谷先生によると、日本全国で年間10万人が突然死しており、その原因の多くが心筋梗塞や脳卒中など血管の事故。大豆は、血糖値の上昇を抑える効果のある水溶性食物繊維や女性ホルモンに似た働きをする大豆イソフラボンを含んでいて、血管の健康を保つためにお薦め、とのことでした。

その後、池谷先生、本多先生をパネリストに迎え、当社取締役マーケティング本部長の北島幹也のコーディネートでパネルディスカッション「なるほど!大豆のかしこい食べ方」を行い、毎日の食生活に大豆を取り入れるコツについてお話いただきました。また、健康な食事とともに運動も大切ということで、池谷先生が考案された「ゾンビ体操」などもご紹介いただき、今後も続けられるアイデアいっぱいの時間となりました。

池谷敏郎先生 ▶
による講演

第3部　映画鑑賞会「いただきます」

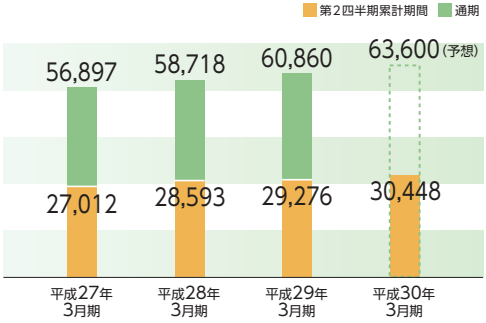
昨年の食育DAYで上映した食育ドキュメンタリー映画「はなちゃんのみそ汁」のモデルとなった「はなちゃん」が5年間通った高取保育園（福岡市）の日常とその後のはなちゃんの様子が描かれた映画「いただきます」を上映しました。園児たちは味噌づくりや、漬物・梅干づくり、食事の用意などを通じて「食がいのちを作ること」を学んでいく、そんな子供たちの様子を通じて「食」の大切さを改めて感じる時間となりました。

映画「いただきます」▶
ポスター

連結財務ハイライト

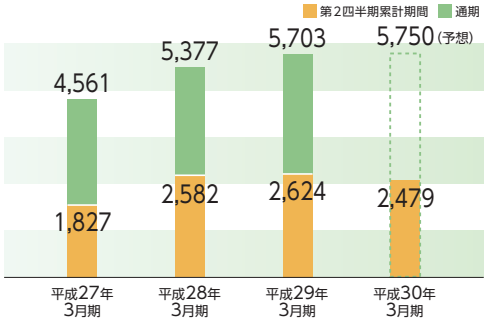
売上高

百万円



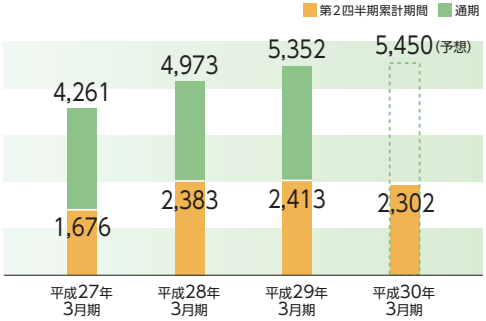
経常利益

百万円



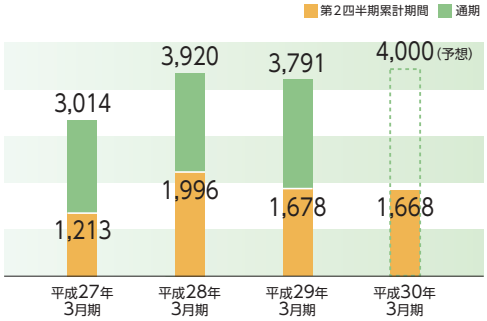
営業利益

百万円



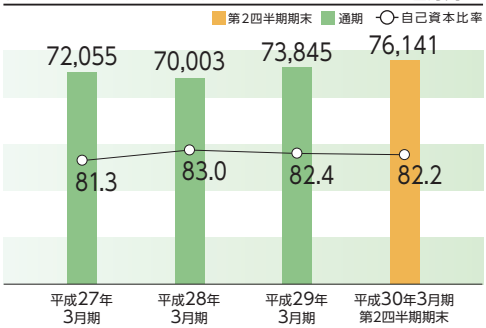
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

百万円



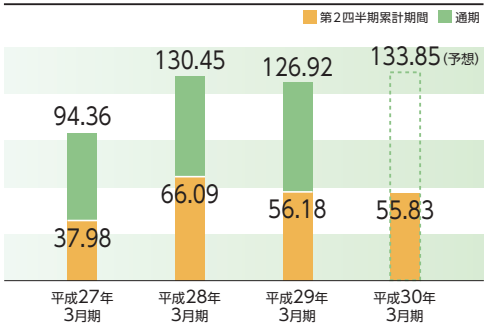
総資産・自己資本比率

百万円・%



1株当たり四半期(当期)純利益

円



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科　目	前第2四半期 (平成28年9月30日現在)	当第2四半期 (平成29年9月30日現在)	前　期 (平成29年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	31,005	**31,881**	32,288
固定資産	40,071	**44,260**	41,556
有形固定資産	32,122	**35,559**	33,469
無形固定資産	320	**311**	317
投資その他の資産	7,628	**8,389**	7,768
資産合計	71,076	**76,141**	73,845
負債の部			
流動負債	10,058	**11,305**	10,952
固定負債	1,848	**2,164**	1,989
負債合計	11,907	**13,469**	12,942
純資産の部			
株主資本	57,505	**60,285**	59,115
資本金	6,566	**6,566**	6,566
資本剰余金	7,416	**7,440**	7,421
利益剰余金	50,535	**53,265**	52,136
自己株式	△7,013	**△6,987**	△7,009
その他の包括利益累計額	1,605	**2,301**	1,739
その他有価証券評価差額金	1,746	**2,416**	1,867
退職給付に係る調整累計額	△141	**△115**	△127
新株予約権	58	**85**	48
純資産合計	59,169	**62,671**	60,903
負債純資産合計	71,076	**76,141**	73,845

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科　目	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)	前　期 (自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月31日)
売上高	29,276	**30,448**	60,860
売上原価	16,840	**17,770**	35,368
売上総利益	12,435	**12,678**	25,491
販売費及び一般管理費	10,022	**10,375**	20,139
営業利益	2,413	**2,302**	5,352
営業外収益	241	**205**	405
営業外費用	30	**28**	54
経常利益	2,624	**2,479**	5,703
特別利益	—	**—**	77
特別損失	130	**41**	264
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,493	**2,437**	5,516
法人税、住民税及び事業税	918	**880**	1,760
法人税等調整額	△103	**△111**	△35
四半期(当期)純利益	1,678	**1,668**	3,791
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,678	**1,668**	3,791

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

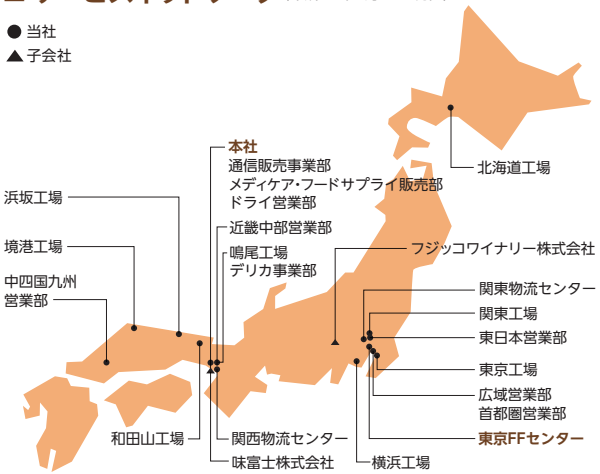
(単位:百万円)

科　目	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)	前　期 (自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,353	**1,459**	5,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△727	**△3,152**	△2,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459	**△237**	△1,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	**—**	—
現金及び現金同等物の増減額	1,165	**△1,930**	1,992
現金及び現金同等物の期首残高	13,643	**15,635**	13,643
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	14,809	**13,705**	15,635

■会社の概要（平成29年9月30日現在）

社名	フジッコ株式会社
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	惣菜製品、昆布製品、豆製品、ヨーグルト製品及びデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億66百万円
従業員	2,246名
工場	兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1、北海道1、鳥取1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業拠点	全国21拠点
連結子会社	●フジッコワイナリー株式会社 ●味富士株式会社

■サービスネットワーク（平成29年9月30日現在）



■取締役（平成29年9月30日現在）

代表取締役社長	福井	正一
専務取締役	奥平	武則
常務取締役	籠谷	一徳
常務取締役	石田	吉隆
取締役	山田	勝重
取締役	北島	幹也
社外取締役	渡邉	正太郎
取締役 監査等委員	山﨑	章史
社外取締役 監査等委員	石田	昭
社外取締役 監査等委員	曳野	孝

本社	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
東京FFセンター	〒112-0013	東京都文京区音羽 1-26-16
東日本営業部	〒344-0041	埼玉県春日部市増富 110
広域営業部	〒112-0004	東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル16階
首都圏営業部	〒112-0004	東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル16階
近畿中部営業部	〒663-8233	兵庫県西宮市津門川町 3-6
中四国九州営業部	〒733-0812	広島市西区己斐本町 3-13-26
ドライ営業部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
デリカ事業部	〒663-8142	兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5
通信販売事業部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
メディケア・フードサプライ販売部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
関東物流センター	〒350-2218	埼玉県鶴ヶ島市柳戸町 8-21
関西物流センター	〒658-0033	神戸市東灘区向洋町西 6-13-1
北海道工場	〒066-0077	北海道千歳市上長都 1-8
関東工場	〒349-1212	埼玉県加須市麦倉 1501
東京工場	〒273-0014	千葉県船橋市高瀬町 5
横浜工場	〒226-0012	横浜市緑区上山 1-8-2
鳴尾工場	〒663-8142	兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5
和田山工場	〒669-5212	兵庫県朝来市和田山町柳原 68
浜坂工場	〒669-6732	兵庫県美方郡新温泉町福富字定利 178
境港工場	〒684-0046	鳥取県境港市竹内団地 271
フジッコワイナリー株式会社	〒409-1313	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2770-1
味富士株式会社	〒650-0046	神戸市中央区港島中町 6-13-4

■株式の状況（平成29年9月30日現在）

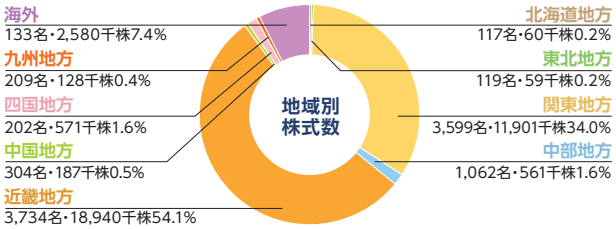
発行可能株式総数	108,000,000株
発行済株式の総数	34,991,521株
株主数	9,479名

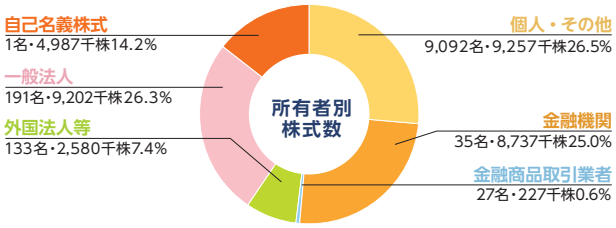
■大株主の状況（平成29年9月30日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
有限会社ミニマル興産	6,194	20.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,895	6.31
福井正一	1,015	3.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	904	3.01
株式会社三菱東京UFJ銀行	895	2.98
住友生命保険相互会社	854	2.84
田中久子	616	2.05
日本生命保険相互会社	550	1.83
株式会社三井住友銀行	494	1.64
繁畑友章	475	1.58

（注）1．大株主上位10名を記載しております。
2．当社は、自己株式4,987,076株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
3．持株比率は、自己株式4,987,076株を控除して計算しております。

■株式分布状況（平成29年9月30日現在）





（注）「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従前の「証券会社」と同様の範囲となります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL　0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fujicco.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。）

ご注意

1．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。

3．未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金について

当社定款の規定に基づき、平成29年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当金を支払います。

1	中間配当金	1株につき金18円
2	効力を生じる日	平成29年12月1日

VEGETABLE OIL INK

この印刷は環境に優しい
植物油インキを使用しています。

食よく、バランスよく。®

「新・日本型食生活」をめざして

フジッコ株式会社
神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。